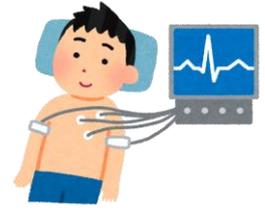




# 生理検査項目の説明



主な検査項目について簡単に説明しています。  
(検査結果の詳細につきましては主治医にご相談ください)

検査種	検査名	説明
心臓・血管	安静心電図	心筋梗塞、不整脈の有無、種類、心臓の肥大や拡張、電解質異常などを診断します。胸の痛み、動悸、呼吸困難、失神など症状がある場合に検査します。手術前や入院前にも行われる検査です。
	マスター心電図	安静心電図では発見できない潜在性の心臓病などを運動負荷によって誘発させることを目的としています。不整脈の診断や、スクリーニング検査として行う検査です。
	トレッドミル	ベルトコンベアの上で歩行やジョギングを行い、運動負荷によって誘発される症状があるか、心電図や血圧に異常がないかをみる検査です。
	ホルター心電図	携帯可能な機器を体に取り付け、24時間心電図を記録します。動悸の原因、失神、めまい、息切れ、胸痛などの症状があるときに検査します。
	ABI/PWV	寝た状態で両足首と両上腕の血圧の比を測定し、血管の硬さや狭窄を調べる検査です。
	持続血圧	1日の血圧の変化を見るために、携帯可能な機器を体に取り付け、24時間血圧を測定します。高血圧の診断や、生活指導管理などに使用されます。
呼吸機能	肺活量	肺の大きさや働きを調べるための検査です。できるだけ大きく息を吸ったり、吐き出したりして検査をします。手術の前にも行われる検査です。
	NOガス	吐いた息の中に含まれる一酸化窒素濃度を測定し、気道の炎症状態や、喘息の程度を調べます。
超音波 (エコー)	心臓	心臓の大きさや動きを観察し、正常に動いているかどうかを調べます。また、弁の動きや形態から、逆流や狭窄を評価します。
	腹部	肝臓、胆のう、膵臓、脾臓、腎臓などの形態異常や病変がないか調べます。食事をすると見つらくなる臓器があるため、検査の7時間前から飲食をしないで下さい。
	頸動脈	血管の狭窄や閉塞がないかを調べ、動脈硬化の評価をします。
	甲状腺	甲状腺、副甲状腺の大きさや状態、腫瘍の有無を調べます。
	乳腺	腫瘍の有無を調べる検査です。触診では分からない乳腺内のしこりを発見できることもあります。
神経	脳波	脳の機能診断のための検査です。てんかんの評価、代謝性や炎症性の脳障害、睡眠障害などを調べます。
	誘発筋電図	手足の運動神経、感覚神経の刺激が、神経の中を伝わる速度を測定する検査です。神経を刺激する際にわずかに痛みを伴う場合がありますが、人体への影響はありません。
睡眠時 検査	簡易SAS	睡眠時無呼吸症候群の検査です。装置を自宅に持ち帰り、ご自身でセンサーを取り付けて就寝します。翌日にセンサーの返却に来ていただきます。
	PSG (ポリソムノグラフィ)	睡眠中の脳のはたらきや、呼吸状態を調べます。特別な装置が必要になりますので、1晩入院して検査します。
聴覚 平衡機能	聴力検査	会話音や、日常の社会音に対する聴覚の状態を診断します。7種類の周波数を用いて、聞こえる最小限の音を調べます。
	ティンパノメトリー	鼓膜に当たった検査音のはね返り具合から、鼓膜の動き具合を調べます。気圧の変化を作るため、耳がツンとする感じがありますが、片側数十秒で終了する簡単な検査です。
	重心動揺	目を開いたときと、閉じたときのふらつきの状態を調べます。
	めまい検査	めまいの診断に必要な検査です。めまいが起こると眼球が異常な動き(眼振)をするので、眼の横に電極をつけてその動きを検査します。